

## 防災・エネルギー対策特別委員会 県内行政調査

1 調査日 平成28年2月4日（木）

2 調査の概要 滋賀県危機管理センター（大津市）

- ・これまでの地域防災活動について（県民参画委員会）
- ・危機管理センターについて

琵琶湖西岸断層帯による直下型地震などの大規模災害の発生時には、地域の人々が自ら協力し合い、地域を守る「共助」の取組が非常に重要であり、自主防災組織はこのような地域防災活動の中心的な役割を日頃から担うことが期待されている。

このような中、県内の自主防災組織は着実に組織化が進みつつあるが、自主防災組織の運営を進める中で、「どのような活動をすればよいかわからない」、「訓練の内容がマンネリ化している」など、課題に直面する自主防災組織もあることから、県では、県内の各地域で先進的または効果的に防災活動に取り組む方を「地域防災アドバイザー」として認定し、希望する自主防災組織や市町へ講師として紹介する制度を設けている。

このことから、地域防災アドバイザーの方と県民参画委員会を実施し、これまでの地域防災活動についての取り組みやこれからの自主防災組織のあり方等について、意見交換を行った。併せて、1月15日に開所した危機管理センターについて調査を行った。

